

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名		ふるさと発見助成事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 020101000153	
総合計画の施策名		0201 学校教育の充実				単独/補助		090101	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり				主要事業		所属課 学校教育課	
施策名		01 学校教育の充実				市長マニフェスト		対象外	
手段名		01 ①教育内容の充実				未来PJ事業		対象外	
		①教育内容の充実				合併建設計画事業		対象外	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
01		10	01	08	10	00	南飯田小学校ふるさと発見事業費		単年度繰返し (平成12年度~)
法令根拠								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>・総合的な学習の時間を利用して、地域の人々との交流を通して自分たちの郷土の自然や人物・文化・歴史などに触れながら、調べたりまとめたりする活動を通して郷土の良さや自慢できるものを再発見させ、郷土を愛する心を養わせている。実施小学校は毎年教育委員会が2小学校を指定している。(18年度は3校、19年度からは2校)</p> <p>この事業に要する経費は教育委員会が指定した学校が予算令達により執行している。(H29年度は南飯田小・雨引小、H30年度は羽黒小、桃山学園)</p> <p>【事業計画】</p> <p>4月~12月 調査・研究活動、</p> <p>1月 研究のまとめ・展示等による校内発表会</p> <p>2月~3月 作品搬入・展示(真壁伝承館等において)</p>	
②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 学校予算配分事務・執行管理指導	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
学校予算配分事務	ふるさと発見活動の実施校数	校	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
市内小学生	市内小学校の児童数	人	2,084.00	1,998.00	1,977.00	1,977.00	1,977.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
郷土の郷土の自然や人物・文化・歴史などに触れてもらう。	参加した児童数	人	303.00	340.00	720.00	500.00	500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	期間限定総投入量
財源	県支出金	千円	0	0	0
内訳	地方債	千円	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	92	92	0
	事業費計(A)	千円	92	92	0
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人
	述べ業務時間	時間	3.00	3.00	3.00
	人件費計(B)	千円	9	9	9
トータルコスト(A)+(B)		千円	101	101	101

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)		30年度事業費 予算(千円)	
	11 需用費	92		11 需用費
	合計	92	合計	92

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 		

事務事業名	ふるさと発見助成事業	事務事業No.	20101000153	所属課	学校教育課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 小学校の児童に郷土を愛する心を養わせるために、平成12年度から平成14年度までの3年間県補助事業を取り入れ実施する。平成15年度からは市町村の単独事業として実施。 県補助事業から市単独補助事業に移行した。 また、平成20年度からは市の補助事業でなく予算令達により実施している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の人々との交流を通して自分たちの郷土の自然や人物・文化・歴史などに触れながら調べたりまとめたりする活動を通して郷土の良さや自慢できるものを再発見させ、郷土を愛する心を養わせることは学校教育の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県補助事業から市単独補助事業に移行した。 また、平成20年度からは市の補助事業でなく予算令達により実施している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 指定小学校の児童が自分たちの住んでいる地域の良さを探し、それを自分たちでまとめたり、発表する活動を通して、郷土桜川市を愛する心が育てられているので成果は達成している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 小学校の児童に郷土桜川市を愛する心の育成が図れない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の支出で本事業を実施しているので事業費の削減余地はない。人件費においても、予算執行に係る必要最小限の指導事務で削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全小学校が対象で、ローテーションにより毎年2校を指定しているので公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ⇨	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・指定小学校の児童が自分たちの住んでいる地域の良さを探し、それを自分たちでまとめたり、発表する活動を通して、郷土桜川市を愛する心が育てられているのでこれからも続けたい事業である。																	
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下		○	
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下		○															
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																		
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 - コスト削減優先度評価結果 -																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
---	---